

各位

2013年6月13日
株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 片岡 尚
(コード番号 4343)
管理統括広報・IR室長 菅原 裕之
(電話 043-212-6203)

2014年2月期 5月度の営業概況

1. 業績の進捗

5月度(2013年5月1日～2013年5月31日)の国内単体の営業収益は33億50百万円、前期比88.3%となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

2. 月次売上高の前期比伸び率の状況

<国内単体>

(単位：%)

	5月度		当期累計(3月度～5月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	81.5	92.8	98.7	97.5
商品売上	112.5	122.5	124.9	120.9
遊戯施設売上計	88.2	99.5	104.5	102.8
売上高合計	88.3	99.5	104.5	102.8

※決算期変更にともない、今期の5月度売上高全店伸び率は2012年4月21日～2012年5月20日と対比しています。

既存店伸び率の前期期間は今期にあわせて5月1日から5月31日で対比しています。なお、既存店伸び率は前期に対し、火曜日が減少し金曜日が増加しており、その影響は0.3%の減少となります。

3. 営業の概況

5月度は、ゴールデンウィーク後半からのスタートとなりましたが、4連休にともなう行楽志向の拡大等の影響もあり5月3日(金)から5月6日(月)の遊戯機械の期間売上は既存店売上伸び率で88.9%とゴールデンウィーク前半(4/27～4/29の4月度)の95.1%を下回る結果となり、5月度全体の遊戯機械売上に影響しました。グループ別ではメダル(既存店94.4%)は回復基調にあるものの、プライズ(同89.9%)が二桁の落込みとなりました。

一方、カードゲームを中心とした商品売上は引き続き好調に推移しており、カードグループ既存店伸び率は126.9%となり全売上に占める構成比は25%と前期5月度の20%を大きく上回りました。

これにより、2014年2月期第1四半期国内事業の売上高は109億50百万円程度(前期比104.5%)となり計画を確保いたしました。これは遊戯機械売上のマイナスを商品売上の伸びでカバーしたことによるものです。

4. 出退店の状況

今期(2013年3月1日～2013年5月31日)は春日部店、つくば店、新潟青山店、東久留米店、大阪ドーム店が開店しました。(すべてモーリーファンタジー)

※2013年5月度末国内店舗数：321店舗

以上